

# 予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールは「VPDを知って、子どもを守ろう。」の会によるものでも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医とご相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み	年齢																		
		0歳	1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳					
		1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
<b>不活化</b> ワクチン B型肝炎	<input type="checkbox"/>																			
<b>生</b> ワクチン ロタウイルス (2回接種)	<input type="checkbox"/>																			
<b>不活化</b> ワクチン ヒブ	<input type="checkbox"/>																			
<b>不活化</b> ワクチン 小児用肺炎球菌	<input type="checkbox"/>																			
<b>不活化</b> ワクチン 三種混合 (DPT)	<input type="checkbox"/>																			
<b>生</b> ワクチン BCG	<input type="checkbox"/>																			
<b>生</b> ワクチン ポリオ	<input type="checkbox"/>																			
<b>生</b> ワクチン MR (麻しん風しん混合)	<input type="checkbox"/>																			
<b>生</b> ワクチン おたふくかぜ	<input type="checkbox"/>																			
<b>生</b> ワクチン みずぼうそう (水痘)	<input type="checkbox"/>																			
<b>不活化</b> ワクチン 日本脳炎	<input type="checkbox"/>																			
<b>不活化</b> ワクチン インフルエンザ	毎秋																			

ロタウイルス・ヒブ・小児用肺炎球菌・三種混合の必要回数を接種するためには、同時接種で受けることが重要です

個別接種の場合はヒブ・小児用肺炎球菌・三種混合などと同時接種で受られます

2012年度中に国が不活化ポリオワクチンを導入する方針です

細菌性髄膜炎はヒブと小児用肺炎球菌の2つのワクチンで予防「髄膜炎ワクチンセット」と覚えてみましょう

二種混合 (DT) : 11歳で追加接種 (接種対象11-12歳)

MR (麻しん風しん混合) : 小学校入学の前年 (幼稚園・保育園の年長に相当) 1年間に接種 (4月~6月がおすめ)

インフルエンザ : 毎年、10月から11月ごろに接種しましょう

日本脳炎 : 9歳で追加接種 (接種対象9-12歳)

➡➡➡ おすめの接種時期 (数字は接種回数)

定期予防接種の対象年齢

定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)

任意接種の接種できる年齢

多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成がある任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

同時接種 : 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。日本小児科学会は乳幼児の接種部位として大腿外側部も推奨しています。くわしくはかかりつけ医にご相談ください。

詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/> VPD

検票